

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】 実現を目指して！



昨年の北見市総合武道祭で俊敏で迫力ある空手の演武を披露してくれました。蛭子法世さんから、「私の目標」と題して寄稿していただきました。

私の目標 蛭子 法世 (北見柏陽高校 3 年)

『私は自分の目標を勝ち取るためにこの武道館に約一年間お世話になりました。また、ここまで強く成長させてくれた恩師にもとても感謝しています。全道大会では今まで目標としてきた個人組手、形で全道優勝することができ、インターハイや国体にも出場することができました。私の目標は恩師だけでなく、武道館のおかげで叶ったも同然です。本当にありがとうございました。』

今年から、空手の名門校である帝京大学に進学します。目標は四年間団体形のレギュラーに入り、日本一になることと、ナショナルチームに選ばれることです。今まで培ってきた力を信じて頑張っていきたいです。』

平成 28 年の鏡開きが北見市武道館で行われました。



1 月 10 日北見市武道館での各団体の鏡開きや居合道の初



抜き会が行われました。北見市柔道協会の西尾静男会長は「目標を持って礼節を身に着け今年一年頑張らしましょう」と挨拶、北見地方剣道連盟の金子罔繁会長は「剣道を通じて健康で、剣道の心と技を磨いてください」と挨拶、各道場に於いて初稽古が行われ、元気よく気持ちのいい汗を流していました。

連載「武道宝鑑」第 6 弾 剣道の奥義を語る 高野佐三郎 大日本武徳会剣道範士

問 『水月の構え』というのは波に月が映って、波に従う形というのですが…高野 月が波に映ずる、どういう風にいえば分かりやすいか…水月の構えなどは、科学的に判断した説明ですね。問 月はどの波にも影を映す、波がどんなに変化しても、月は絶えず影を映し行く、敵がどんなに変わっても、それに応じて行くという意味ですか。

高野 もう少し進んで考えると月が水に映じたのか、水が月を映したのか、その幾つかの波があると、月は一つ一つに分かれて、幾つにも映っている、注意が一つに傾いてはいかん、どの波にも月があるというのです。

問 『筑波山葉山繁山しげけれど木の間木の間いに月かげぞする』というのと同じ意味ですね。

高野 あれは宮本武蔵先生が詠まれた歌ですが、それを判断するのに分かりやすく出来て居ります。

問 『合気を外す』ということを御説明を願いたいのですが…。

高野 それは頗る大事なことで、試合に臨んで、向こうも打ち、此方も打つというのが合気ですから、…つづく